

109 事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅲ 地域力

基本目標：子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
91 子ども広場事業の実施	◆引き続き、生涯学習指導員の見守る中、子どもたちが気軽に来館し、過ごせるような受け入れ態勢とします。(公民館) ◆今後も、引き続き安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりに努めます。(社会教育課)	◆子どもの部屋事業を実施しました。(公民館) ◆公民館において、子どもの居場所づくりを行い、安全・安心な子どもの居場所を確保しました。(社会教育課)	◆公民館の部屋を開放し、公民館職員の見守りのもとで、子ども達が安全・安心に過ごせる居場所を確保できました。	A	◆引き続き、子ども達の安全・安心な居場所するため、子ども広場を実施します。	社会教育課・青少年課
92 こども会館事業の実施	◆児童憲章の精神にのっとり、児童に健全な遊びを提供し、もって健康を増進し、情操を豊かにする施設として当館の充実を図るべく事業を展開していきます。	◆子ども達がいかに興味を持ち、笑顔を絶やさぬ事業となるよう、例年同様の事業を行う中、内容に変化を付け展開し、年間で28事業を開催しました。	◆既存設備(遊具やスポーツ器具)を最大限に活用し、子どもたちのニーズに沿った事業を開催しました。また、季節に応じた事業(書初め教室)を開催し、子どもたちの興味を引き付け、子どもの居場所としての役割を果たすことができました。	A	◆土・日曜日や長期休業中において、子どもたちにとって魅力ある講座や教室を開催するとともに、その周知を図り、遠方からの児童を含め、より多くの児童が利用できるような努めていきます。	青少年課
93 子ども講座の充実	◆公民館サークルの会員や地元で活動している指導者を講師にするなど、地域で子どもを支えるプログラムを考えていきます。	◆公民館サークルの会員や地元で活動している指導者を講師として実施しました。(公民館)	◆芸術・文化の伝承、むかし遊び、自然体験、映画会等の講座を実施し、子どもたちの豊かな心を育むとともに、子どもの居場所づくりに取り組みました。	B	◆引き続き子どもたちの豊かな心を育む講座の開催や、子どもたちが安全安心に過ごせる子どもの居場所づくりに努めます。	公民館
94 学校体育施設の開放	◆利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めていきます。また、各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てることを目標とします。	◆土日祝日に市内16小学校のグラウンド・体育館を開放しました。 ◆学校体育施設開放運営委員会連絡協議会に委託し、各小学校に管理指導員を配置することにより、利用者が安全・安心に活動できるよう努めました。	◆土日祝日のグラウンド・体育館を開放することで、学校体育施設を有効に活用するとともに、市民にスポーツ活動の場を提供しました。各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立つことができました。	A	◆引き続き、利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めます。また、各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てることを目標とします。	生涯スポーツ課
95 放課後子供教室の実施	◆公民館において実施中の子ども広場事業を継続するとともに、学校を核とした放課後子供教室の整備につなげていきます。	◆実花公民館において試行的に実施しました。	◆実花公民館において、試行的に放課後子供教室を実施し、多くの子ども達が参加できました。	C	◆実花小学校の1年生から3年生を対象に、地域住民の参画を得て、小学校の周辺に花の苗を植えるなどの体験活動を行います。 ◆各小学校内での放課後子供教室の実施について、余裕教室等の確保や、運営方法等、様々な課題を整理し、近隣他市の取組み状況調査を行い、本市の実情に応じた取組みを検討します。	社会教育課・青少年課
96 こども園の整備	◆大久保こども園整備に向け、現在の施設状況を把握します。	◆平成31年4月の開園を目指すため、全体のスケジュールを精査した結果、平成27年度から設計業務に着手するため、補正予算措置を行いました。(こども政策課) ◆設計業務委託を締結し、設計業務に着手しました(こども政策課) ◆大久保こども園整備に向けたスケジュールを確認しました。(こども保育課)	◆基本設計策定に向けて専門的な意見を取り入れるため、大久保保育所及び新栄幼稚園の職員やこども保育課の指導主事などで構成するプロジェクトチームを発足させました。(こども政策課) ◆平成27年度中に、スケジュールの確認を行いました。(こども保育課)	A	◆スケジュールに基づき、こども園の運営、教育・保育に係る協議事項について、プロジェクトチームにおいて検討を行います。(こども政策課) ◆本市の専門職の意見や保護者の意見を踏まえながら、引き続き、基本設計・実施設計策定に向け取り組みます。(こども政策課)	こども政策課・こども保育課

109事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅲ 地域力

基本目標：子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
97 こどもセンターの充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)をすべてのこどもセンターときらっ子ルームで実施することで、子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供を行います。 ◆一時預かりファミリー・サポート・センター事業(ファミサポる～む)をすべてのこどもセンターで実施します。 ◆ボランティア等との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。 ◆こどもセンター(鷺沼)の建て替えに向け、建物の解体工事設計を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆こどもセンター(鷺沼)は、引き続き、鷺沼連合会館2階と白鷺園園庭を借用し、暫定施設として事業を実施しました。(子育て支援課) ◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こども園こどもセンター(東習志野、杉の子、袖ヶ浦)やきらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)との情報共有、連携により事業を実施しました。(子育て支援課) ◆4月から子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)をすべてのこどもセンターときらっ子ルームで開始し、子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供を行いました。(子育て支援課) ◆6月から一時預かりファミリー・サポート・センター事業(ファミサポる～む)をすべてのこどもセンターで開始しました。(子育て支援課) ◆地域のボランティアの協力を得ながら四季折々の遊び(年5回)、学習会(年7回)、地域世代子育て交流会(年3回)きらっ子こどもまつり(10月24日開催)など、地域と連携したイベントを実施しました。 ◆こどもセンター(鷺沼)の建て替えに向けた建物の解体工事設計業務を実施後、解体工事の一部を実施しました。(子育て支援課) ◆各こども園のこどもセンターにおいて、育児支援や情報提供を行い、子育て支援を実施しました。(こども保育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆こどもセンター職員(保育士、保健師)による育児相談を実施し、子育て中の保護者の育児不安の解消につながりました。(子育て支援課) ◆土曜日の開館により、父親や共働き家庭の利用が図られました。(子育て支援課) ◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こども園こどもセンター、きらっ子ルームの施設間での情報共有を図ることができました。(子育て支援課) ◆こどもセンターに対する情報提供を実施することで子育て支援につながりました。(こども保育課) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、こどもセンター・きらっ子ルーム職員全員を「子育て支援コンシェルジュ」として配置し、子どもに関する相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行うことで、より身近な場所での子育て支援に努めます。(子育て支援課) ◆平成27年度より実施しているこどもセンター解体工事の終了後、新たな施設を設置し、平成29年1月の再開に向けた業務を行います。(子育て支援課) ◆こどもセンターに対して、育児に関するわかりやすい情報提供や助言等を行い、子育て支援を実施します。(こども保育課) 	子育て支援課・こども保育課
98 きらっ子ルームの充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)を開始し、子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供を行います。 ◆きらっ子ルームおおくぼで、引き続き、一時預かり事業(ファミサポる～む)を実施します。 ◆地域(ボランティア等)との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆4月から子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)を開始し、子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供を行いました。 ◆きらっ子ルームおおくぼで、引き続き、一時預かり事業(ファミサポる～む)を実施しました。 ◆地域(ボランティア等)の協力により、ミニ講座等を実施しました。(きらっ子ルームやつ)ミニ学習会2回、おはなし会12回、ハルニター8回、ベビーマッサージ等19回、イベント(演奏など)7回(きらっ子ルームおおくぼ)学習会4回、おはなし会2回、ヨガ11回 	<ul style="list-style-type: none"> ◆きらっ子ルームやつは、土日に開館していることにより、父親や共働き家庭の利用が増加しています。 ◆保育士による見守りや声掛け、保護者からの相談に対応し、育児不安の解消につながりました。 ◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こどもセンター(鷺沼、東習志野、杉の子、袖ヶ浦)、きらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)の施設間で情報の共有を図りました。 ◆ボランティアによるイベント・ミニ講座等を積極的に開催し、両施設ともに利用者が増加しています。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、こどもセンター・きらっ子ルーム職員全員を「子育て支援コンシェルジュ」として配置し、子どもに関する相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行うことで、より身近な場所での子育て支援に努めます。 ◆きらっ子ルームやつの使用面積を拡大して運営するとともに、一時預かり事業(ファミサポる～む)を実施し、育児支援に寄与します。 ◆平成28年10月よりきらっ子ルームやつの運営業務を委託し、事業の充実に努めます。 	子育て支援課
99 地域交流事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆年2回の学校支援ボランティア会議で年間計画や活動報告について協議するとともに学校間の連携をはかり、学校支援ボランティア活動の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆年2回の学校支援ボランティア会議を開催し、各中学校区の学校間連携を図ることができました。(指導課・小学校・中学校) ◆約9,800人の方に学校支援ボランティアとして活動していただき、交流を深めることができました。(指導課・小学校・中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各学校で意欲的なボランティア活動が展開され、地域の方との交流が深まりました。(指導課・小学校・中学校) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆年2回の学校支援ボランティア会議で学校間の連携を図るとともに、学校支援ボランティア活動の充実を図ります。(指導課・小学校・中学校) 	小学校・中学校・指導課
100 中学生と幼稚園児・保育所児・こども園児の交流の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流を通して地域の子どもたちが相互に結びつき、互いに進んでかかわる気持ちを育み、生活がより充実したものとなるようにしていきます。 ◆保育所児や幼稚園児・こども園児と中学生との異年齢交流を更に充実していきます。(中学校) ◆交流を通して、一つ一つが相互に結びつき、幼稚園・保育所生活が充実したものになるようにしていきます。(幼稚園・保育所・こども園) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保育所児や幼稚園児・こども園児と中学生との異年齢交流を推進しました。(中学校) ◆中学生と幼稚園児・保育所児・こども園児の交流の計画を立案し、実行しました。(こども保育課) 【具体例】・中学生手作り絵本の読み聞かせ・中学生の職場体験学習・運動会でいっしょにダンス・合同避難訓練・しっぽ取りゲームなど遊びなど 	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学生に優しくしてもらうことで、安心して活動に取り組むことができました。(こども保育課) ◆中学生にとって保育所児や幼稚園児・こども園児と交流することは、活動を通して発達段階による違いを理解するとともに、「優しい心」を育むよい機会となっています。(指導課) ◆小さい子のお世話をすることで、人のために何かをすることの喜びを感じることができました。(指導課) ◆キャリア教育の一環として、保育士等の職業について理解を深めることができました。(指導課) ◆保育所児や幼稚園児・こども園児は、中学生から優しく接してもらうことで心地よさを感じ、思いやりの気持ちが育ちます。(指導課) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流を通して、年長者への憧れや尊敬の気持ちを育み、幼稚園・保育所生活が充実したものになるようにしていきます。(こども保育課) ◆中学生と幼稚園児・保育所児・こども園児の交流活動の更なる充実を目指します。(指導課) 	中学校・幼稚園・保育所・こども園・指導課

109 事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅲ 地域力

基本目標：子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
101 地域参加型学校行事の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校行事の時間や曜日を、保護者や地域の方が参加しやすいように設定します。 ◆学校行事の見直しや計画をするにあたり、地域との交流を考えたものになります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆開かれた学校づくりを推進し、地域の方々の学校行事への参加を呼び掛けました。(指導課・小学校・中学校) ◆地域の方が参加しやすいよう、学校行事の実施時間や曜日の見直しを行いました。(指導課・小学校・中学校) ◆地域の行事に学校側からも積極的に参加をしました。(指導課・小学校・中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者や地域の方が数多く学校行事に参加することで、教育活動の理解を図り、学校全体の信頼が深まりました。(指導課・小学校・中学校) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校だよりや学校ホームページを活用して学校についての情報を広く周知し、地域の方々の参加を促します。(指導課・小学校・中学校) ◆学校行事の見直しや計画をするにあたり、地域との交流を考えたものになります。(指導課・小学校・中学校) 	指導課・小学校・中学校
102 青少年健全育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民まつりにおける子ども広場の運営を中心に、青少年育成団体間の情報交換を引き続き実施します。 ◆育成者の技術向上、情報交換、情報共有、親睦を図るための研修会等について検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民まつりでは、子ども広場を運営し、11,633人の参加がありました。また、青少年育成団体連絡協議会の定期的な開催により、情報交換、情報共有が図られています。 ◆子ども会育成会、青少年相談員、リーダーズクラブ等の活動を支援しました。 ◆子ども会育成会では、会員及び育成者等248名の参加のもと、富士吉田夏期キャンプを開催し、テント宿泊、富士登山、キャンプファイヤー等を通じて、青少年の健全な育成に寄与しました。 ◆青少年相談員では、新規事業として、見上げてみよう夏の夜空(20名)、習志野市青少年相談員50周年記念事業すぼ一つゆきがっせん!(37名)を開催しました。 ◆リーダーズクラブでは、上述の夏期キャンプの生活指導者として27名が帯同し、夏期キャンプの支援並びにリーダーとしての資質向上に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各団体により事業展開が異なる中、青少年の健全育成に対して、青少年並びに育成者、また、関係保護者を含め、その発展に寄与することができました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆青少年の健全育成に寄与すべく事業を引き続き積極的に展開するとともに、各団体間の更なる連携を推進していきます。 	青少年課
103 地域の人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域力の活性化を目指して、子育てに関する知識を豊富に有している地域の方々によるボランティアの活用に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆こどもセンター・きらっ子ルームにおいて、地域ボランティアの協力により、講座やイベントを開催しました。(子育て支援課) ＜ボランティアの人数＞ ・こどもセンター:セタコンサート(1回4人)、おはなし会(10回4人)、誕生のつどい(11回7人)、ミニコンサート(1回2人)、あそぼの会(20回11人) ・きらっ子ルームやつ:おはなし会(12回3人)、ミニコンサートのイベント(7回32人)、ベビーマッサージ(19回5人)、パネルシアター(8回1人)、学習会(2回2人)、太極拳(1回1人)、英語で読み聞かせ(3回2人) ・きらっ子ルームおおくぼ:ヨガ11回1人、おはなし会(2回1人) ◆幼稚園・保育所・こども園において、ボランティアによる絵本の読み聞かせや歌唱指導、英語に触れる経験、環境整備、安全確保などを実施しました。(45人)(こども保育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆こどもセンター・きらっ子ルームにおいて、地域ボランティアの協力により、講座やイベントを開催し、地域の人材の活用につながりました。(子育て支援課) ◆地域のボランティアにより、子どもたちの多様な経験や豊かな学びにつながりました。(こども保育課) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆子育てに関する知識を豊富に有している地域ボランティアの協力により、こどもセンター・きらっ子ルームにおいて講座やイベントを開催することで、事業の充実につなげ、地域力の活性化を図ります。(子育て支援課) ◆子育てに関する知識を豊富に有している地域の方々と連携し、ボランティアの活用に努め、地域力の活性化を目指します。(こども保育課) 	子育て支援課・こども保育課・こども園
104 子育て支援団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等との情報交換や課題を共有するよう努めます。 ◆「ならしのきらっ子こどもまつり」を実施し、子育て支援団体等との連携に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成27年度で12回目となる「ならしのきらっ子こどもまつり」について、子育て支援団体を含む「きらっ子こどもまつり実行委員会」を組織し、実施しました。 ・日時:平成27年10月24日 ・実行委員会開催回数:3回 ・実行委員会参加団体:ならしの子ども劇場、ぼつぼの会他 ◆市内で活動する子育てに係る団体と意見交換を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市内の子育て支援に関わる団体との意見交換をし、情報共有を図ることができました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等との情報交換や課題を共有することで、事業の充実にも努めます。 ◆「ならしのきらっ子こどもまつり」を実施し、子育て支援に係る団体等との連携に努め、地域の子育て支援の機運を高めることに寄与します。 	子育て支援課
105 余裕教室の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校運営に支障のない範囲で、引き続き余裕教室の有効活用を図ってまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆余裕教室に対する教育財産の使用許可申請に基づき、地域への開放等を行いました。(教育総務課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆習志野市青少年育成団体等に対し、教育財産の使用許可を行うことにより協力を行っています。(教育総務課) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆今後も余裕教室の有効活用を図ってまいります。 	小学校・中学校
106 保育所・こども園における地域開放活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆安全・安心に遊べる場を提供するとともに、保護者同士の交流の機会や子育てについての相談、情報提供の場として活かし、家庭における子育ての不安感の軽減と支援に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆幼稚園・保育所・こども園において、所庭開放・園庭開放を実施し、子ども達が安全に遊ぶ場を提供し、子育ての相談にのったり、子育てに関する相談・情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが安心して遊べる場の提供ができました。また、保育内容への理解にもつながりました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの遊び、保護者同士の交流、育児情報の提供の場として、保育所・こども園を地域に開放します。 	保育所・こども園・こども保育課

109事業における実績評価

【基本理念】子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

基本視点Ⅲ 地域力

基本目標：子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる

事業名	事業目標	実施内容	成果	達成度	平成28年度事業目標	担当課
107 幼稚園・こども園における子育てふれあい広場の充実	◆子育てに関する情報の発信や親子・子ども同士・親同士・在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図ります。	◆幼稚園11か所とこども園3か所で子育てふれあい広場を開催し、子育てに関する情報の発信や親子・子ども同士・親同士・在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図りました。	◆就園前の親子が楽しく安心して遊べる場となることができました。また、在園児とのかかわりを通して園の教育内容への理解につながりました。	B	◆乳幼児を育てているに対して、遊びの場所や遊具の提供、在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図ります。	幼稚園・こども園・こども保育課
108 NPO法人や育児サークル等への支援	◆こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あそぼの会」の発行などに対する支援を行います。 ◆親同士、子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課) ◆育児サークル化の支援とともに、活動を継続しやすい環境づくりに努めます。(公民館) ◆育児に関する活動を行っている、NPO法人や市民活動団体等のチラシを市民協働インフォメーションルームに設置します。(協働政策課)	◆育児サークルへの部屋の貸出しにより活動を支援しました。(公民館) ◆育児サークル「あそぼの会」の主な活動である「こどもセンターたより」について、こどもセンターの支援のもと編集・発行を行いました。(年5回発行)(子育て支援課) ◆こどもセンター(鷺沼)、きらっ子ルームの掲示板において、子育て情報として、育児サークル発行によるチラシ等の掲示を行い、情報提供に努めました。(子育て支援課) ◆親同士の仲間づくりを支援するため、利用者が作成した情報を利用者が見れるよう設置したり、グループ化の支援を行いました。(子育て支援課) ◆NPO法人が実施する親同士の情報交換と育児の仲間づくりを進める事業のチラシを市民協働インフォメーションルームに設置しました。(協働政策課)	◆「あそぼの会」の支援により、参加メンバーは、こどもセンターたよりの編集、発行作業を通じ、こどもセンターを拠点とする親同士の仲間づくりや交流を深めるとともに、子どもとの遊び方、その他子育てに関する情報を得、子育て期の充実につながっています。(子育て支援課) ◆市民協働インフォメーションルーム登録団体などの市民活動団体から講座やイベント等のチラシを窓口への設置を行い、市民活動をされている方を始めインフォメーションルームに来庁された方に対し情報提供を行いました。(協働政策課) ◆育児サークルの活動の場所の提供ができました。(公民館)	A	◆こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あそぼの会」の発行などに対する支援を行います。(子育て支援課) ◆親同士、子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課) ◆市民協働インフォメーションルームのチラシ設置場所を整理し、育児に関する活動を行っているNPO法人や市民活動団体等のチラシが手に取りやすいように工夫します。(協働政策課) ◆引き続き育児サークルに活動の場所を提供し、その活動が継続しやすい環境づくりに努めます。(公民館)	子育て支援課・公民館・協働政策課
109 企業における男女共同参画の啓発	◆企業に対し、仕事と子育て等の両立に関する制度等の普及・啓発、利用促進を行い、働く場における男女共同参画を推進します。(男女共同参画センター) ◆企業・勤労者に対する男女平等の啓発を推進するため、男女共同参画センターとの連携によりパンフレット等を配布し、情報の提供を行います。(産業振興課)	◆妊娠・出産、育休等を理由とする不利益取扱いに関するパンフレットを商工振興課(現 産業振興課)窓口へ配架するとともに習志野商工会議所へ配布し、情報提供を行いました。(産業振興課) ◆千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度及び千葉県両立支援アドバイザー派遣事業については、習志野商工会議所を通じて市内事業所へ周知を行うとともに、平成26年度に千葉県男女共同参画推進事業所表彰を受賞した市内2事業所取材し、情報紙「きらきら」へ掲載することにより、さらなる啓発を行いました。(男女共同参画センター) ◆6月に女性の再チャレンジ(再就職等の社会進出)を支援する目的で、平成23年度以降休止していた再チャレンジ支援講座(連続3回)を商工振興課及び習志野商工会議所と共催し、実施しました。(男女共同参画センター)	◆千葉県男女共同参画推進事業所表彰を受賞した市内2事業所取材した情報紙「きらきら」を習志野商工会議所会報誌と併せて配布し、市内事業所へ制度を周知しました。(男女共同参画センター) ◆働く意義を考えるとともに、自己分析を通じて自分の強みや価値観を見つめ直し、今後の生き方や働き方を考える機会を提供できました。(男女共同参画センター) ◆勤労者向けセミナー参加者人数(産業振興課)(ワークライフバランス)18名(マタニティハラスメント)15名 上記の参加があったことから仕事や家庭生活の両立に関する意識啓発や妊娠・出産、育休等を理由とする不利益取扱いに関する意識啓発につながりました。 ◆女性の再チャレンジ支援講座の共催(産業振興課)男女共同参画センター及び習志野商工会議所と女性の再チャレンジ支援講座を共催、又、それぞれが単独で行っていた関連性のある事業を連動させることで、再就職や創業・起業、本人のスキルアップなど、再チャレンジにあたっての様々な選択肢を提供することができ、女性の再チャレンジへの一助となりました。	A	◆千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度についての認知度が高まる周知方法を模索しながら、更に周知に努めまし。(男女共同参画センター) ◆受講者の就業への意欲を持続させるため、他の課が主催する関連講座との連携や、市内の求人情報の提供など、情報発信の強化を図ります。(男女共同参画センター) ◆引き続き、企業・勤労者に対する男女平等の啓発を推進するため、男女共同参画センターとの連携によりパンフレット等を配布し、情報の提供を行います。(産業振興課) ◆女性の再チャレンジという視点で既存の事業を見て、関係する機関との連携や事業を更に連動させていき、再チャレンジにあたっての様々な選択肢を提供するなど、再チャレンジする女性を支援していきます。(産業振興課)	男女共同参画センター・産業振興課